キャンプ場、RVパーク、キャビンレンタルの再開手順：付録 O

2020年6月12日金曜日から有効

ロサンゼルス郡公衆衛生局は、特定の施設が安全に営業を再開できるよう、科学と公衆衛生の専門知識に基づく段階的アプローチを試みています。以下の要件は、州衛生担当官命令により、営業再開を許可されたキャンプ場、 RV パークおよびレンタルキャビンに特化したものです。この種のビジネスは州知事がこれらの特定の施設に課す条件に加え、本チェックリストに記載されている条件にも準拠する必要があります。

注：本文書は、追加情報やリソースが入手され次第 更新されることがあるため、定期的にロサンゼルス郡のウェブサイト http://www.ph.lacounty.gov/media/Coronavirus/ をアクセスして、本文書が更新されていないかご確認ください。

本チェックリストの内容

⑴ 職場における従業員の健康を保護するための方針と実践

⑵ 物理的距離を確保するための対策

⑶ 感染防止対策

⑷ 従業員および市民とのコミュニケーション

⑸ 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

施設が再開手順に取り組む際、これら5つの重要点を考慮する必要があります。

本ガイダンスの対象となるすべてのキャンプ場、 RVパークおよびキャビンレンタルは、以下に記載されているすべての適用可能な対策を実施し、対策が実施されていない場合は、それが適用されいない理由を説明する必要があります。

施設名：

施設住所：

A. 職場における従業員の健康を保護するための方針と実践（施設に該当するものをすべて選択）

- ☐ 在宅勤務で職務を果たせる従業員には、在宅勤務が指示されている。
- ☐ 脆弱なスタッフ（65歳以上、慢性疾患のある人）には、可能な限り在宅勤務で行うことができる作業が割り当てられている。
- ☐ 従業員を在宅勤務にする機会を増やすため、可能な限り作業工程を再編成している。職務の変更を希望する従業員には顧客や他の従業員との接触を最小限にする職務を検討する。
- ☐ 物理的距離を最大化するために、代替、時間差、またはシフト制のスケジュールを設定している。
- ☐ すべての従業員（有給スタッフ、ボランティアを含む。以下「従業員」）は、病気の場合、またはCOVID-19感染者に曝露した場合、出勤しないように指示される。従業員は、該当する場合、自己隔離と検疫に関する公衆衛生局のガイダンスに従わなければならないことを理解する。病気で自宅待機することによって従業員が罰せられることがないように、職場休暇方針を見直し、修正している。
  - 家族第一コロナウイルス対策法に基づく従業員の病気休暇の権利、および知事の行政命令N-62-20に従った勤務者の労災補償の権利や、COVID-19に関わる労働の推定を含む、COVID-19関連の従業員の病気休暇との労災補償をサポートする政府のプログラムに関する追加情報をご参照ください。
- ☐ 一名以上の従業員がCOVID-19に対して陽性反応が出た場合や、一致する症状が出たことを知らされた際、雇用主は感染者の自宅隔離を促し、職場で曝露した全従業員の即時自己検疫を促す計画または手順を準備している。雇用主の計画は、追加のCOVID-19管理対策が必要となりえる職場での新たな曝露があったかを判断するため、検疫中の全従業員がCOVID-19検査へのアクセスや、検査を受ける手順を検討する必要がある。
- ☐ 従業員が職場に入る前に症状の確認を行っている。症状の確認には従業員が経験している咳、息切れ、発熱、その他の症状が含まれる必要がある。これらの確認は遠隔か、従業員の出勤時に直接行うことができる。可能であれば検温も職場で行う。
- ☐ 14日間以内に職場内で3件以上の症例が確認された場合、オーナー、マネージャー　または責任者はこの発生を公衆衛生局 (888) 397-3993または(213) 240-7821に報告する。
- ☐ 勤務中に公衆や他の従業員と接触する全従業員に無料で布製フェイスカバーを提供している。就業中、他者と接触するまたはその可能性がある従業員は常時フェイスカバーを着用する。個人オフィスや仕切られた作業スペースに一人で勤務する従業員は、布製フェイスカバーを着用する必要はない。
- ☐ 従業員は、フェイスカバーを毎日洗濯するよう指示されている。
- ☐ 他者の症状をスクリーニングしたり、頻繁に触れられるアイテムを取り扱う従業員には使い捨て手袋を支給している。
- ☐ 従業員に、キャンプ場のすべてのエリアで、利用者、および他の従業員から少なくとも6フィートの距離を維持するように指示している。 従業員はお子様の世話をする場合、または必要に応じて、一時的に他者に近づくことができる。
- ☐ トイレ、その他の共用エリアは以下のスケジュールに従って頻繁に消毒されている。
  - トイレ _____
  - その他 _____
- ☐ 従業員は消毒剤および関連用品を以下の場所で利用できる。

  _____
- ☐ すべての従業員はCOVID-19に対して効果的な手指消毒液を以下の場所で利用できる。

  _____
- ☐ 従業員は頻繁に手を洗うことを指示されている。
- ☐ 各従業員に本手順のコピーを配布している。
- ☐ 可能な限り、各従業員には、各自の用具を割り当てている。 従業員に、電話、タブレット、無線機、その他の作業用品、またはオフィス機器を可能な限り共有しないように指示している。 また、個人用

防護具も共有しないよう指示されている。

- ❑ アイテムを共有する必要がある場合、勤務シフトまたは使用ごとにその表面に適したクリーナーを使用して消毒している。共有アイテムには以下が含まれる：コピー機、ファックス、プリンター、電話、キーボード、端末、ATMのPINパッド、ホッチキス、ホッチキス針抜き、レターオープナーなどの共有オフィス機器、受付エリアの表面、共有ワークステーション、オーディオおよびビデオ機器、トランシーバーなど。
- ❑ 従業員が勤務中に清掃作業を実施するための時間を割り当てている。 清掃の割り当ては従業員の職務の一環として勤務時間内とする。必要に応じて営業時間を変更し、ワークスペースを定期的かつ完全に掃除できるようにする。 必要に応じて増加する清掃需要を補うために外部の清掃会社を利用する。
- ❑ スタッフの欠勤を監視し、可能であれば、訓練を受けた補填用従業員の名簿を作成する。
- ❑ オフィスやその他のワークスペースにポータブル高効率空気清浄機を設置し、建物の空気フィルターを可能な限り最高効率のものへアップグレードして、オフィスや他のスペースの外気量と換気量を増やすためにその他の変更を加えることを検討する。
- ❑ スタッフ会議を調整して物理的距離を確保し、より少人数での会議を駆使して物理的距離のガイドラインを維持する。
- ❑ 電話、ウェビナー、または可能な限り屋外で、従業員との会議を行う。 可能であれば、新しいスタッフのためにバーチャル方式による面接と採用手続きを検討する。
- ❑ このチェックリストに記載されているすべての方針は、雇用条件に関するものを除き、第三者として敷地内にいる可能性がある配達スタッフ およびその他の会社に適用される。
- ❑ オプション – その他の対策の説明

_____

B. 物理的距離を確保するための対策

- ❑ 従業員と利用者の間で少なくとも6フィートの物理的距離を確保するための対策を講じる。これには、店舗、ロビー、受付エリア、またはビジターセンターにおけるスタッフと利用者の間のプレキシグラスの仕切りの設置や、立ち位置または列を作る場所を利用者に示すための視覚的な目印の使用が含まれる。 また、給水ステーション、RVダンプステーション、プロパン給油ステーション、およびその他の同様のサービス場所を使用する順番を待つ際に、必要に応じて視覚的 または口頭による案内をして、利用者に立つ場所を指示する。
- ❑ スタッフは、握手、拳や肘を突き合わせる、およびその他の身体的接触を避けるよう指示されている。
- ❑ 運営者は、人々が集まりそうな場所を監視し、物理的距離やその他のガイドラインが遵守されていることを確認する。 これらのエリアには、水泳エリア、スポーツフィールド、スケートパーク、ハイキングコースの入り口、人気のある日常利用者エリア、ピクニックエリアなどがある。
- ❑ バスケットボール、テニス、バレーボールのコート、クライミングストラクチャー、遊び場は引き続き閉鎖する。
- ❑ 管理されている屋外アクティビティを有料で提供する施設の場合、施設の利用者数を制限する予約システムの実装を検討する。
- ❑ キャンプ場やRVパークへの到着した利用者に対するリモートチェックインの実装を検討する。公園の入り口に標識を掲示して、例えば、利用者は登録エリアに入るのではなく連絡先の電話番号をリストに記載するなど、到着時に利用者が取るべき行動について通知する。可能であれば、オンライン決済、オンサイト支払ステーション、クレジットカード決済、または電話での支払いの利用が推奨される。
- ❑ リモートチェックインが不可能な場合は、可能であれば外で利用者のチェックインを行い、領収書はメールで送信する。必要に応じて、物理的距離要件に従い、到着時に利用者を直接施設にエスコート

または案内する。 同一世帯のみが各キャンプ場またはレンタルユニットを占有することができる。未登録の利用者はキャンプ場またはRVパークへの立ち入りは許可されない。

- ☐ 薪、食料品、またはその他の商品を含む品物を商店から事前購入し、スタッフが利用者のキャンプ地またはキャンピングカーにその品物を届けるプロセスの実装を検討する。
- ☐ パビリオン、共同の囲炉裏、公共のキャンプキッチン、野外劇場など、集会やグループ行動を目的とした屋外スペースは、引き続き閉鎖している。すべてのベンチ、共用エリアのピクニックテーブル、および複数人用の座席（キャンプファイヤー周囲の座席を含む）を除去、分離、閉鎖の標識を掲示、テープを貼るなどして、利用者が集まらないようにする。
- ☐ グループ用キャンプファイヤー、グループ用キャンプ場、野外劇場でのプレゼンテーション、音楽やその他の公演やイベントを含むすべての公共イベントや集会は、キャンセルまたは延期する。
- ☐ 通常は世帯グループのみを収容するような小規模なピクニックシェルターは、物理的距離に関連する制限（たとえば、一度に一世帯に使用を制限する）を実施することにより、引き続き公開できる。
- ☐ キャンプ場とRVパークの現場の評価を行い、物理的距離を確保するために、公園の収容人数を減らして運営する必要があるかどうかを判断する。

野外活動

- ☐ 運営者は、州のガイドラインでまだ推奨されていない活動を含む、より高リスクの活動がご自身の所有地で行われていないことを確認するための措置を講じている。
- ☐ レクリエーション機器をレンタルおよび貸与するためのプロセスを評価し、そのような業務を再開するための十分なスタッフ能力と利用可能な洗浄および消毒用品があるかどうかを判断する。 詳細については、屋外機器のレンタルに関する郡のガイダンスを参照する。
- ☐ 必要に応じて、屋外のレクリエーション活動を変更して、適切な洗浄および消毒手順を実装できるようにする。
- ☐ アーチェリー、テニス、ハイキングコースなどのさまざまな野外活動については、郡のウェブサイト http://www.ph.lacounty.gov/media/Coronavirus/にあるガイドラインに従い、適切な感染防止と物理的距離措置が遵守されていることを確認する。
- ☐ ライフジャケット、ウェットスーツ、綿製のリードロープ、サドルバッグ、バックパックなどの「ソフトグッズ」の洗浄と消毒には、特定の課題がある。 そのような用具は、COVID-19感染のリスクを最小限に抑えるために、効果的な洗浄手順を取る、または別の人が使用する前に少なくとも3日間の十分な「ダウンタイム」を取れるようにするために十分な在庫の量が必要となる。
- ☐ 異なる世帯の方々の間の距離が6フィート未満になる濃厚接触を必要とする高接触プログラムおよびスポーツは、一時停止する。 これには、グループスポーツイベント、ピックアップバスケットボール、学内スポーツ活動、レース、ダンスなどの活動が含まれる。
- ☐ 接触の多い屋外レクリエーション活動は世帯単位に制限する。 これには、ボートのレンタル、ロープコース、クライミングウォールが含まれる。 キャンプ場やRVパークでは、自然観察ハイキング、夜間映画鑑賞、ミニゴルフ、ジオキャッシング、スカベンジャーハント、またはその他のアクティビティを、物理的距離を維持する方法で世帯単位で利用できるかどうかを検討する。
- ☐ 利用者にヘルメット、ギア、防護服、救命胴衣、その他のアイテムを装着する場合、スタッフは物理的距離を確保する。 可能であれば、スタッフは物理的距離を維持せずに利用者への装着を手伝うのではなく、用具の適切な装着方法をデモンストレーションして示す。

共同休憩室とシャワー施設

- ❑ 公衆トイレは一日を通して清掃・消毒する。 キャンプ場、RVパーク、またはレクリエーションエリアの最大収容人数は、公園の運営者が維持でき、物理的距離要件を満たすことのできる完全に稼働しているトイレの数に基づく必要がある。
- ❑ 共有トイレ施設は、EPA登録消毒剤を使用して一日を通して定期的に清掃する。 蛇口、トイレ、ドアノブ、電灯のスイッチなどの頻繁に触れる物の表面は、頻繁に清掃・消毒する。 従業員は、Cal / OSHAの要件に従って新しい製品の危険性と適切な使用についてトレーニングを受け、使用中の特定の洗浄剤に必要な防護具（眼の保護具や手袋など）が提供されている。
- ❑ 公開しているすべてのトイレ施設の清掃スケジュールを作成して掲示する。ドアの正面に清掃スケジュールを掲示し、利用者のトイレ利用可・不可を通知する。清掃、消毒中は、必ずトイレを閉鎖する。
- ❑ チェックリストまたは監査システムを使用して、清掃の実施頻度を記録することを検討する。
- ❑ 仕切りが設置されている場合、または物理的距離要件を指示する標識が掲示されている場合に限り、シャワールームの使用が許可される。 仕切りまたは適切な距離の確保が不可能な場合、これらの施設は引き続き閉鎖される。
- ❑ 衛生設備が継続して稼働し、常に継続的な在庫が確保されるようにする。 必要に応じて、追加の石鹸、ペーパータオル、手指消毒剤を用意する。 可能であれば、モーションセンサーシンク、蛇口、ソープディスペンサー、消毒剤ディスペンサー、ペーパータオルディスペンサーなどのハンズフリーデバイスを設置する。
- ❑ 複数の便房があるトイレのドアは、ドアノブに触れることなく開閉できるようにする。 ドアノブまたはドア開閉装置に手で触れないとドアを開けられない場合は、ドアにつっかえをして開けておくか、ドアの近くにゴミ箱を置くなどして、ドアを操作するときにペーパータオルを簡単に廃棄できるようにする。 廃棄物入れの場所と位置は、出口、避難口、緊急設備、または米国障害者法に基いて定義される合理的な設備に抵触してはならない。 ゴミ箱は定期的に空にする。
- ❑ キャンプ場、RVパーク、屋外レクリエーションの利用者に、洗面台が感染源になる可能性があることを説明し、歯ブラシやその他のアイテムをカウンターの表面に直接置かないよう指示をする。トイレ内の他の表面との接触を制限するために、身の回り品用にトートバッグの使用もできる。
- ❑ キャンプ場とRVパークの管理者は、トイレとシャワー・入浴設備を装備したキャンピングカーに滞在するゲストは、可能であれば共有施設ではなく、自分の施設を使用するように推奨する。
- ❑ トイレ内の標識を含め、適切な手洗い方法についての情報を提供する。

プールと水泳施設

- ❑ サウナ、スチームルーム、ホットタブは引き続き閉鎖される。
- ❑ 適切な消毒剤レベル（100万分の1～10 ppmの遊離塩素または3～8 ppmの臭素）およびpH（7.2～8）を維持する。
- ❑ 水泳施設を設計した会社または技術者に相談して、どのEPA承認の消毒剤が施設に最適かを判断する。お子様の手の届かない場所での製品の安全な保管を含め、消毒剤の安全かつ正しい使用と保管を行う。
- ❑ 掃除や消毒が必要な家具（例：ラウンジチェア）やその他の共有アイテムが、既に洗浄・消毒された家具やその他の共有アイテムとは別に保管されるようにシステムを設定する。まだ洗浄および消毒されていない使用済み用具の容器と、洗浄および消毒済み用具の容器にそれぞれラベルを付ける。
- ❑ 利用者に自分のタオルを持参して使用することを推奨する。 タオルを提供する場合は、製造元の指示に従って、タオルと衣類を洗濯する。 最も適切な水温を使用し、アイテムを完全に乾燥させる。タオルは使い捨ての手袋を着用して取り扱い、タオルを振るなど、余計な作業を最小限に抑える。

- ❑ 利用者にアイテムを共有、特に掃除や消毒が困難なアイテム、または顔に触れるアイテム（ゴーグル、ノーズクリップ、シュノーケルなど）の共有を避けるよう促す。
- ❑ キックボード、プールヌードル、その他の浮遊用具など、利用者に適した設備が施設にあることを確認し、可能な限りその共有を最小限に抑える。 一度に一名の利用者に使用を制限し、使用するたびにアイテムを洗浄・消毒する。
- ❑ 屋内水泳施設では、窓やドアの開放、扇風機の使用、その他の方法で、外気の導入と循環を可能な限り増やす。ただし、スタッフ、利用者、または水泳者に安全上のリスクが生ずるような場合は、窓やドアを開けないでください。
- ❑ プールサイドのレイアウトを変更して、立ち見席および座席エリアでは、物理的距離が確保できるようにする。 これには、椅子の除去や、使用を妨げるためのテープの貼付が含まれる。
- ❑ 水中および水に入っていないときに、 スタッフ、利用者および水泳者が少なくとも互いから6フィート離れることができるように、物理的な手がかりまたはガイド（例えば、水中のレーンの線、またはプールサイドの椅子やテーブル）と視覚的な目印（例えば、プールサイド、床、または通路にテープを貼る）や標識を用意する。
- ❑ 可能であれば、スタッフと顧客がやり取りしなければならない場所や、物理手距離の確保が困難な場所には、プレキシグラスなどの不透過性の物理的仕切りを設置する。
- ❑ プールの利用に予約制を実装することを検討する。これには個人のラップスイミング用のフルレーンの予約が含まれる。
- ❑ 遊泳者の監視を行っているライフガードに、手洗い、布製フェイスカバーの着用、または他者との社会的距離措置の監視は要求されない。 この監視役には、別の従業員を指名する。
- ❑ 水泳施設での、グループの集まりを促進するような活動は避ける。

キャビンとレンタルユニット

- ❑ キャビンや他のレンタルユニットを備えたキャンプ場やRVパークでは、各使用ごとにこれらのエリアを適切な手順に基づいて清掃および消毒する。 これには、ベッドの手すり、テーブル、テレビのリモコン、ヘッドボード、カウンター、台所用品、冷蔵庫の取っ手、コンロのつまみ、鏡、その他のアイテムの拭き取りと清掃が含まれる。
- ❑ 未使用のように見えるアイテムを含め、すべてのリネンは、各利用者の滞在のごとに取り外して洗濯する。レンタルユニットの寝具、タオル、その他の洗濯物を掃除する際、汚れた洗濯物を扱うスタッフは使い捨ての手袋を着用し、使用後これを廃棄する。手袋を外した直後は、石鹸で手を洗うか、消毒剤を使用する。レンタルユニットに余分なリネンを保管しない。 これらのアイテムは、要求があった場合にのみ提供する。
- ❑ 汚れた洗濯物を振らない。 これにより、ウイルスが空気中に拡散する可能性が最小限に抑えられる。製造元の指示に従って、必要に応じてアイテムを洗濯する。 可能であれば、アイテムに最も適した温水設定を使用してアイテムを洗濯し、アイテムを完全に乾燥させる。 上記の頻繁に触れる物の表面に関するガイダンスに従って、洗濯物入れを清掃・消毒する。 可能であれば、毎回使用後に廃棄できる使い捨て、または洗濯できるバッグライナーの設置を検討する。
- ❑ 鍋、フライパン、調理器具などのキッチン用品は、各利用者の滞在ごとに、可能であれば食器洗い機を用いて石鹸とお湯で完全に洗浄する。 到着時に各利用者に適切な食器用洗剤と新品のスポンジを提供する。 可能であれば、調理器具を使い捨て食器に置き換えることを検討する。
- ❑ 利用者がチェックアウトしてから、レンタルユニットを含むキャンプ場が所有する宿泊施設を掃除する前に、24時間待機することを検討する。
- ❑ 会議やミーティングを含む大規模な集会を目的としたレンタルユニットは、そのような運営が再開できるまでは公開しない。

飲食物と食事

- ☐ 飲食物と食事に関する指示については、レストランに関する公衆衛生局ガイダンスに従う。
- ☐ 屋外のレクリエーション運営者は、相互汚染のリスクを増大させる持ち寄り、またはそれに類似した食事を分け合う形式の飲食イベントを開催しない。 飲食物を提供または共有する必要がある場合は、可能な限り、使い捨ての食器を使用する。 食事を配膳するスタッフまたはボランティアは、こまめに手を洗い、使い捨ての手袋とフェイスカバーを着用する。

ランドリー施設

- ☐ 必要に応じてランドリールームの設備の利用時間を調整して、スタッフが洗濯機の蓋とドア、リントスクリーン、テーブルやカウンター、椅子またはベンチ、ソープディスペンサー、自動販売機、両替機、洗面台、およびその他のエリアを頻繁に清掃および消毒する十分な時間を確保できるようにする。
- ☐ 利用者が機器を使用する前後に周辺を拭くことができるように、洗濯室に手指消毒剤と消毒用ワイプを設置することを検討する。
- ☐ ランドリー施設からすべてのゲーム、本、パンフレット、またはその他のアイテムを除去する。 洗濯かごやゴミ箱がある場合は、これも取り除く。
- ☐ ランドリー施設の利用に予約制の導入を検討する。これにより、スタッフはいつ施設が使用されているかを知ることができ、利用者は不必要なやり取りを回避できる。予約の入っていない時間はランドリー施設を施錠して、十分な清掃時間を確保する。
- ☐ 予約制の導入が不可能な場合は、利用者間の物理的距離6フィートを確保できるように、洗濯・乾燥機を一つ置きに利用不可にする。
- ☐ 洗濯物の洗濯・乾燥中、利用者に屋外で待つことを勧める。 または、視覚的な目印を使用して利用者に立つ場所を指示し、利用を制限して、各利用者が同時に複数のマシンを使用できるようにする。
- ☐ 洗濯室の広さに対する最大収容人数を決定し、ドアに、一度に入室できる人数と、清掃と消毒のスケジュールを示す標識を掲示する。

C. 感染防止対策

- ❑ 到着予定日前に、キャンプ場やRVパークで予約をした利用者に連絡して予約を確認し、本人またはご家族の誰かがCOVID-19の症状を示していないかどうか尋ねる。 利用者の回答が肯定的であった場合、再スケジュールするか、予約をキャンセルする。
- ❑ ゲストのチェックインエリアやロビー、ビジターセンター、スタッフの休憩室、トイレ、階段や手すりなどの入口と出口のエリアなど、人通りの多いすべてのエリアで一日を通して徹底した清掃を行う。
- ❑ 車両のハンドルとギアシフト、鍵、道具、給水栓、ゴミ箱、ラウンジチェア、共有機器、ドアノブ、カウンター、トイレ、手洗い設備など、よく使用される物の表面を頻繁に消毒する。
- ❑ 屋外のレクリエーション運営者は、特に柔らかくて多孔性の物の表面に対して、適切な消毒手順を決定するために用具の製造元に相談する。 可能な限り自分の用具を持参して使用するよう利用者に勧める。
- ❑ ゲストの受付、チェックインエリア、およびスタッフのワークステーションに、手指消毒剤や消毒用ワイプなどの適切な衛生用品を用意する。
- ❑ ハイキングコースマップ、本、雑誌、コーヒー、水、セルフサービスステーション（タッチレスでない場合）、およびその他の利用者向けアイテムを含む設備は、接触点と利用者のやり取りを減らすために受付エリアから除去する。 ハイキングコースマップおよびその他の印刷物を、到着時に個人使用向けに利用者に配布する。

- ❑ 共有のボードゲームや本など、洗浄しにくく、よく触れるアイテムは、可能な限り利用者に貸与しない。そのようなアイテムを貸し出す場合は、別の利用者に貸し出す前に、返却されたアイテムを少なくとも3日間保管コンテナに入れることを検討する。
- ❑ CDCのガイドラインに従って、長期にわたる施設の閉鎖後にすべての水道システムが安全に使用できることを確認し、レジオネラ症やその他の水に関連する病気のリスクを最小限に抑える。
- ❑ 多くの場合、ポータブルトイレや汲取り便所など、水道のないトイレ設備には手指衛生製品が用意されていません。これらの施設で使用するために、アルコール濃度60%以上の手指消毒剤を持参するよう利用者に勧める。 これらを配備している場合は、簡易手洗いステーションが装備され、石鹸、タオル、および水の供給が十分であることを確認する。
- ❑ トイレを清潔に保つためにトイレ設備を頻繁なスケジュールで清掃して、キャンパーと利用者にその使用を奨励する。これにより、キャンパーが不潔で、不衛生なトイレの使用を拒んで、屋外で用を足すことを回避できる。 可能な場合は、トイレに使い捨てシートカバーを用意する。
- ❑ スタッフがキャンプ場、公園、ハイキングコースの入口、またはその他の施設で処分しなければならないゴミの量を最小限に抑えるために、可能な限り、持ち込んだものを持ち帰るよう利用者に推奨する。
- ❑ 給水ステーション、RVダンプステーション、およびプロパン給油ステーションは、毎日清掃および消毒し、使用後はスタッフが機器を拭き取る。 可能であれば、利用者とスタッフが使用できるように、これらの施設付近に手指消毒剤を配置する。
- ❑ スタッフは、道具、電話、電子機器、事務用品をできるだけ共有しない。また、可能な場合は、従業員が自分専用のワークステーションを使用できるようにする。 個人用防護具は決して共有しない。
- ❑ 洗浄剤を選択する際、雇用主は環境保護庁 (EPA) 承認のNリストにあるCOVID-19に対して使用が承認された製品を使用し製品の使用方法に従う。 新型ウイルス性病原体対して効果的であるとラベル付けされた消毒剤、希釈された家庭用漂白剤溶液（水1ガロンあたり大さじ5杯）、または表面に適したアルコール濃度70%以上のアルコール溶液を使用する。 製造元の指示と安全な使用のためのCal / OSHA要件に関するトレーニングを従業員に提供する。 洗剤や消毒剤を使用する作業者は、製品に必要な手袋やその他の防護具を着用する。
- ❑ 各利用者の滞在後、各サイトのアメニティを適切に拭き取り、洗浄、消毒する。 これには、BBQグリル、椅子、すべてのシーティングエリア（スイングやベンチなど）、給水栓、RV電源および給水器が含まれる。
- ❑ 必要に応じて、すべての従業員に対して、万能洗浄剤と消毒剤を使用する訓練を実施し、それらの供給が適切になされていることを確認する。
- ❑ 施設の用務員または清掃員に、感染者が滞在した場所で作業する場合はそれを通知する。 影響を受けたエリアの除染には、認定を受けている外部の清掃サービスの利用が推奨される。
- ❑ 用務員または清掃員に既知のCOVID-19症例があるエリアを消毒するように依頼する場合、キャンプ場またはRVパーク運営者が適切な防護具とトレーニングを提供するまで、作業を開始してはならない。用務員または清掃員は、ゴミの処理を含む、清掃プロセスのすべての作業中に使い捨て手袋を着用する。 作業員は、手袋を外した直後に石鹸と水で手を洗うか、手指消毒剤を使用するように注意を払う。 使用する洗浄・消毒剤の製品、および飛散のリスクがあるかどうかによって、アイゴーグルを含む追加の個人防護具(PPE)が必要になる場合がある。
- ❑ 用務員には、使用する洗浄剤と消毒剤の危険性、安全データシートの入手の可能性、必要なPPE、および必要な換気に関するトレーニングと情報を提供する。
- ❑ 作業員が、清掃作業をする場所では十分な換気（空気の流れ）が必要とされる。 バスルームやその他の小さなスペースを清掃する場合は、ドアと窓が開いていることを確認する。

- ❑ 消毒に関連する喘息のリスクを低減するために、喘息安全成分（過酸化水素、クエン酸、または乳酸）を含む消毒剤製品をNリストから選択する。 喘息を引き起こす可能性がある成分であるペルオキシ酢酸、次亜塩素酸ナトリウム（漂白剤）、または第4級アンモニウム化合物の混合製品は避ける。
- ❑ キャンプ場とRVパークの利用者に、メンテナンスチームの整備員、用務員、または清掃員から6フィートの距離を確保するように促す。 利用者がこの手順に従っていることを確認するために、定期的に作業員に確認するプロセスを実装する。 仕返しや報復を恐れることなく、作業員がそのような情報を共有できるような環境を作る。
- ❑ キャンプ場とRVパークの運営では、敷地内のドッグパークが、適切な物理的距離を保ちながら、利用者とその動物を収容するにあたり十分な広さかどうかを評価する。スペースが十分でない場合は、ドッグパークを拡張、収容数を制限、または閉鎖する。

D. 一般市民とのコミュニケーション対策

- ❑ キャンプ場とRVパークの運営者は、利用者が到着前に公園の新しいポリシーと手順を十分に理解できるように対策を講じる。 このポリシーには、キャンプ場とRVパークの運営者が、症状を発症している利用者を含むグループの予約をキャンセルする権利、新しいチェックイン手順、物理的距離要件、 宿泊施設、アメニティ、チェックイン・登録エリア、公園内売店やビジターセンターなどの一般的なエリアの清掃と消毒のスケジュールを含める。
- ❑ 以下の内容に関する情報を利用者に提供する。
    - 事前に計画を十分に行う。サイトに到着する前にオンラインまたは電話で予約、および利用許可、薪、氷、その他のアイテムの購入をする。
    - できる限り必需品は持参する。たとえば、ご自分の石鹸、表面消毒剤、手指消毒剤、ペーパータオル・ハンドタオル、トイレットペーパーを持参する。 また、公共施設の使用前後に、消毒用ワイプを持参して掃除することが推奨される。 可能な限り、屋外レクリエーションに必要なスポーツ用品、タオル、応急処置用品、およびその他のアイテムを持参する。ピクニックテーブル用に処分可能なあるいは持ち帰って洗濯できるプラスチックのテーブルクロスを持参する。
    - 物理的距離を確保するために、利用者は同一世帯以外の人々が滞在する隣接するサイトからの距離を最大化するようご自分のキャンプサイトまたはピクニックエリアを設定する。
    - 多くのプログラムや施設はキャンセルまたは閉鎖される可能性があるため、利用者はルール変更および閉鎖に関する最新情報についてオンライン情報を確認し、到着時に予期されることを確認する。
    - セルフサービス施設と設備のすべての清掃手順を使用前に観察する。
    - ピクニックテーブルや椅子などの家具は、公園のスタッフが物理的距離を確保するために適切に間隔を空けて配置している可能性があるため、これらを移動しない。
    - 指示標識に従う。たとえば、収容人数制限を遵守するために順番を待つ。これにより、建物内、および他の閉じ込められたスペースの周辺の物理的距離措置が促される。
    - 安全かつ責任ある方法で旅行を計画する。バックカントリーやレスキューの要請には多くの緊急時対応要員が必要となり、これらの医療リソースへの追加の要求はすべての人を危険にさらすので注意する。
- ❑ 機密性を維持しながら、スタッフと利用者が症状を自己報告し、曝露と閉鎖の迅速な通知を授受できるコミュニケーションシステムを確立する。
- ❑ 本手順のコピーを、キャンプ場のすべての公共の入口に掲示している。
- ❑ 利用者に、呼吸器症状がある場合は自宅待機するよう通告する標識を掲示している。
- ❑ 施設のオンライン発信（ウェブサイト、ソーシャルメディアなど）は、現在の再開手順、フェイスカバー着用の必要性、感染対策の実践、および物理的距離の要件に関する明確な情報を提供している。

E. 重要なサービスへの平等なアクセスを確保するための対策

- ❑ 利用者にとって重要なサービスを優先している。
- ❑ 移動が制限されている、または公共スペースにいることで病気にかかるリスクが高い顧客のための商品およびサービスへのアクセスを保証するための対策を講じている。

企業は 上記に含まれていない追加対策について別紙に記載し本文書に添付してください。

本手順に関するご質問やご意見は以下の者までご連絡ください。

企業担当者名: _____

電話番号: _____

最終更新日: _____